

FAX 通信

2021年4月1日発行 No.03-85 From KOTANI

ホームページ <http://www.kotanikk.com>

新シール概論 (2) オイルシール (5)

今まで、ゴム製オイルシールを説明してきましたけれども、樹脂製のオイルシールもありますので、紹介します。

規格としては、次のISO規格があります。

ISO 16589 Rotary shaft lip-type seals incorporating thermoplastic sealing elements

ISO 16589-1: Normal dimension and tolerances
(寸法及び許容差)

ISO 16589-2: Vocabulary
(用語)

ISO 16589-3: Storage, handling and Installation
(保管、取扱い及び取付け)

ISO 16589-4: Performance and Test procedures
(試験方法)

ISO 16589-5: Identification of visual imperfection
(外観欠陥)

このISO規格は熱可塑性樹脂のシールエレメントとして用いたオイルシールであり、熱可塑性樹脂としては、一般的にはPTFE(四フッ化エチレン樹脂)が用いられています。

残念ながら、JIS化されていませんので、国内では、JIS規格として見ることが出来ません。ISO規格を見る以外内容を詳しく知ることができません。

規格の構成上は、ゴム製オイルシールでのJIS規格と同様な形態をしています。

内容的にはほぼゴム製オイルシールと類似していると思ってください。

ただし、図1に示すように通常のゴム製オイルシールと異なり、ばねが入っていません。

また、固定側は、金属、ゴム+金属、ゴムの3種類があります。

(図はISO規格から)

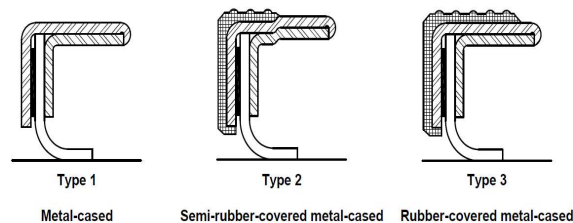


図1 樹脂製オイルシールの形態

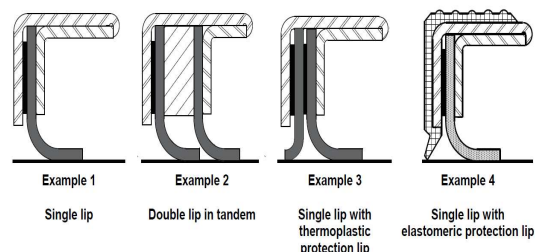


図2 樹脂製オイルシールのエレメントの形式

当然ながら、現在、国内では、標準化されたカタログ等はありません。

したがって、ゴムオイルシールと樹脂製オイルシールとの使用方法等の区別をどうすべきなどかは疑問が残ります。

推定使用可能範囲は圧力0.03MPa、周速50m/s、温度-60℃から200℃です。

現在、類似の製品が三菱電線工業(株)から発売されていますので、それを次号に記載します。

(続く)

取扱い製品について

NK リング：ふっ素ゴムをふっ素樹脂で被覆した画期的なOリング

コードリング：英国 NES 社の誇るふっ素ゴムつなぎOリング

TESNIT：スロベニア DONIT TESNIT 社製の高品質ジョイントシート

その他の各種シール製品

以上の詳細はホームページに記載していますので、是非ご覧ください。カタログや技術資料は、ご要望がございました下記の本社宛にご一報ください。

コタニ株式会社

本社：神戸市中央区浜辺通 2-1-30

TEL:078-251-5300 FAX: 078-251-5307

FAX 通信の記事についてのご意見や質問がございましたら下記の担当者に連絡ください。(担当：根本)